

08.10.15  
高知新聞

# 枯れ葉剤被害児救おう

## ベトナムの合奏団 慈善公演

高知市



ベトナム戦争中、米軍が使用した枯れ葉剤の被害に苦しむ子どもたちを救おうと、高知市高須の県立美術館ホールで十四日夜、ベトナムの合奏団によるチャリティーコンサートが開かれ、約二百人が情緒あふれる歌と踊りに酔いしれた。

連合高知や県平和運動センターなどで行く高知公演実行委員会の主催。

公演は平成八年から全国で開かれており、高知市での開催は十一

ベトナムの民族音楽が披露されたチャリティーコンサート（高知市の県立美術館ホール）

年ぶり。今年は日本とベトナムの外交関係樹立三十五周年に当たり、同市を含めて全国十八カ所で開く。

この日は、ホーチミン市から訪日した「桃花源」という選抜メンバーが民族音楽などを披露。素朴でどこか郷愁が漂う音楽が次々と演奏され、青や黄色の鮮やかな民族衣装・アオザイに身を包んだ女性たちの踊りも演奏に花を添えた。

コンサートの収益金は、リハビリや治療器具の購入のほか、枯れ葉剤の影響で生まれながらに障害がある子どもたちのリハビリ施設

の運営資金などに充てられる。

高知南高校二年生の河野佑亮君は「こうした機会があれば募金の使われ方を知ることができ、ベトナムについて理解を深めることができると思う」と話していた。